

第11号議案 令和3年度長崎市一般会計予算

【目次】

(歳出)	ページ
【2款 総務費 1項 総務管理費 2目 広報広聴費】	
1 広報広聴推進費	
1 広報戦略推進費	1
2 シティプロモーション推進費	8
4 テレビ・新聞等広報費	10
【2款 総務費 1項 総務管理費 9目 国際化推進費】	
2 都市間交流推進費	
1 都市提携及び親善交流費	14
3 福州市友好都市提携40周年記念事業費	17

秘書広報部

令和3年2月



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
114 ～ 115	2 総務費	1 総務管理費	2 広報広聴費	1-1	広報戦略推進費	千円 30,503

1 概要

市民とのコミュニケーションを深めながら信頼関係をつくり、地域と一緒にまちづくりを進めていくために、広報の役割は非常に重要である。

市民に市の政策や情報をわかりやすく、正確に伝え、市内外に市の魅力を発信するため、広報に関する専門的な知識を有する専門家の支援を受け、指針となる広報戦略に基づいた戦略的・効果的な広報活動を行う。

広報に関する職員の意識改革・人材育成に取り組むとともに、重点的広報テーマとして、市民の暮らしを便利で豊かにする情報をお届けする「暮らしプロモーション」及び長崎市のまちの進化や魅力等を市の内外に発信する「シティプロモーション」の実施や、情報発信力・社会的影響力がある市民等とのネットワークの構築などに取り組み、市役所の広報力の向上を図る。

2 事業内容

(1) 広報戦略に基づく情報発信 (12,764千円)

重点的広報テーマである「暮らしプロモーション」及び「シティプロモーション」を推進するため、プロモーション用広報ツールの拡充、広報ツールを活用した市内での情報発信及び広報に関するネットワークの構築等を行う。

ア プロモーション用広報ツールの拡充等 (2,973千円)

現在制作しているプロモーション用広報ツール (WEB サイト、動画、冊子) について、事業の進捗に伴う更新や拡充を行い、内容の充実を図る。

イ 市内での情報発信 (8,971千円)

様々な媒体を活用し、プロモーション用広報ツールを活用した効果的な情報発信を行う。

(ア) 電車広告の掲出



(イ) 街頭大型ビジョンでの放映 (茂里町など)



(ウ) 屋外大型広告の掲出（市庁舎建設敷地など）



(エ) 公用車へのマグネットシートの掲出



ウ クリエイター・メディアとのネットワークの構築（820千円）

広報に関する人的ネットワークを構築し、全庁的に活用することで情報発信力の強化を図る。

(ア) ネットワーク会の開催

情報発信力や社会的影響力がある市内外のクリエイター・メディアとのネットワークを構築するため、情報交換会を開催する。

(イ) その他情報収集等に係る旅費

首都圏等において、情報収集やシティプロモーションを行う。

(2) 職員の意識改革・人材育成（132千円）

広報戦略アドバイザー等による研修を実施し、広報戦略の浸透を図るとともに、職員の広報に対する意識の醸成や柔軟な思考でアイデアを発想するスキルを高める。また、広報に関する図書の整備を行い、庁内への貸出を行う。

ア 職員研修の実施

イ 図書の整備

(3) 広報戦略アドバイザーによる支援（17,159千円）

広報の分野において豊富な実績を有する専門家から、戦略的・効果的な広報を行うための支援を受ける。

ア 主な支援内容

(ア) 職員の意識改革・人材育成に関すること

(イ) 広報戦略に基づく個別事業の広報展開等に関すること

(ウ) 既存広報媒体の見直し及び有効活用に関すること

イ 広報戦略アドバイザー 鳥巢 智行 氏

長崎市出身。株式会社電通に在籍し、広告・宣伝、事業の企画立案を行う部署に所属。平和、まちづくり活動などにも取り組み、長崎伝習所事業にも参画。令和元年8月から長崎市の広報戦略アドバイザーを務めている。

ウ 支援体制

(ア) 長崎市での業務支援・アドバイス、現地確認など 月2回

(イ) メール等での相談・業務支援 随時

(4) その他経費（備品購入費、消耗品費、郵送料ほか）（448千円）

3 財源内訳

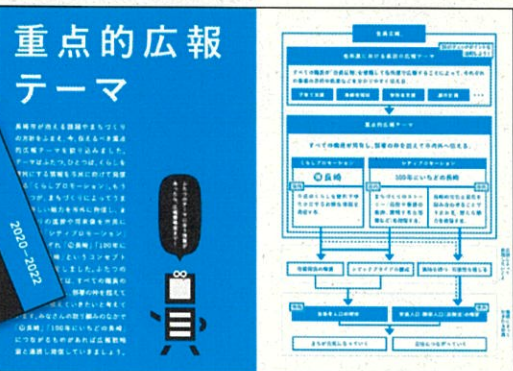
事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 30,503	千円 14,641	千円 -	千円 -	千円 -	千円 15,862

※地方創生推進交付金 補助率1/2

【参考1-1】長崎市広報戦略（計画期間：令和2年度～令和4年度）の重点的広報テーマ及びプロモーションのイメージ戦略

重点的広報テーマ

広報戦略室が中心となり2つのプロモーションを実施。すべての職員が共有し、部署の枠を超えて市内外へ伝える。



くらしプロモーション

市内

得長崎

市民のくらしを便利でゆたかにするお得な情報を発信する。

シティプロモーション

市内

100年にいちどの長崎

市外

まちづくりのストーリー（目的や事業の進捗、実現する生活像など）を発信する。

長崎の文化と変化を組み合わせることによって、新たな魅力を発信する。

コンセプトワード

長崎MIRAISM

「未来」「未来図」「ISM（主張・流儀）を含んだ造語」。

- ・長崎だからこそその未来
- ・市のまちづくりにかける想い
- ・長崎市民のまちづくりへの想い

コンセプトビジュアル



コンセプトシンボル



- ・掛け合わせでうまれる魅力
- ・無限大の可能性
- ・広がり
- ・新旧の融合
- ・市と市民をつなぐ架け橋

イメージ戦略

- ①入り口となる『長崎MIRAISM』のコンセプトビジュアルを浸透させる。
- ②コンセプトビジュアルで接点をつくり、中身を伝える媒体（WEBサイト・動画等）に引き込む。

令和2年度

STEP1

- コンセプトビジュアルの設定
- プロモーション用広報ツール制作

令和3年度～

STEP2

【気付いてもらう】

まちじゅうでコンセプトビジュアルを目にする「接点づくり」

STEP3

【観てもらう】【ワクワクしてもらう】

プロモーション用WEBサイト、動画等への誘引

STEP4

【行動してもらう】

- 市民の将来のまちへの期待感、シビックプライドと参加意欲を醸成する
- 長崎に行ってみたい、関わりたい人を増やす

【参考1-2】プロモーション用広報ツールの概要について（令和2年度に制作中）

重点的広報テーマ

くらしプロモーション

市内

得 長崎

市民のくらしを便利でゆたかにするお得な情報を発信する。

シティプロモーション

市内

100年にいちどの長崎

まちづくりのストーリー（目的や事業の進捗、実現する生活像など）を発信する。

市外

長崎の文化と変化を組み合わせることであまれる、新たな魅力を発信する。

WEB
サイト

くらしプロモーション及びシティプロモーションの情報をまとめた専用WEBサイト

〇くらしプロモーション

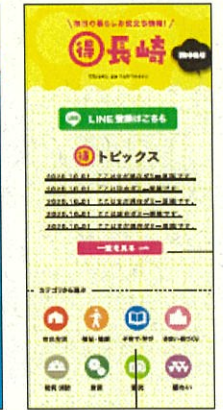
便利な制度や楽しみ方などを利用者目線で分野ごとに分け、情報をわかりやすく整理し発信する。

〇シティプロモーション

のもぎき恐竜パークや出島メッセ長崎など、現在進行中の大型事業等の目的・進捗・基礎情報に加え、長崎で暮らす人の将来の生活像を事業担当者と市民との対談を通じて発信する。

※WEBサイトには、動画や冊子のデータなどを掲載し、プロモーションの中核となる総合的な発信媒体として活用する。

※各部署が管理する既存のWEBサイトや動画を紹介し、連携を図る。



連 携

LINE

LINEの特長や機能を活かし、利用者が希望する分野の市政情報を効果的に発信する。特に「得長崎」や新型コロナウイルスなどの重要度・緊急度の高い情報は、誘導効果に優れた配信フォームで発信する。



連 携

動画

プロモーションの全体像を伝えるコンセプトムービーや、のもぎき恐竜パーク、出島メッセ長崎等の9つの大型事業を紹介する短編ムービーで、まちづくりへの興味を喚起する。



コンセプトムービー編（3分・30秒 各1本）

大型事業編（30秒×9本）



連 携

冊子

まちづくり全体の目的・進捗・基礎情報等を紹介する。動画とともに、職員が市内外で長崎のまちを紹介するコミュニケーションツールとしても活用する。



画像は現時点でのイメージです。

プロモーション用広報ツールを効果的に活用し、重点的広報テーマに基づくプロモーションを強化する。

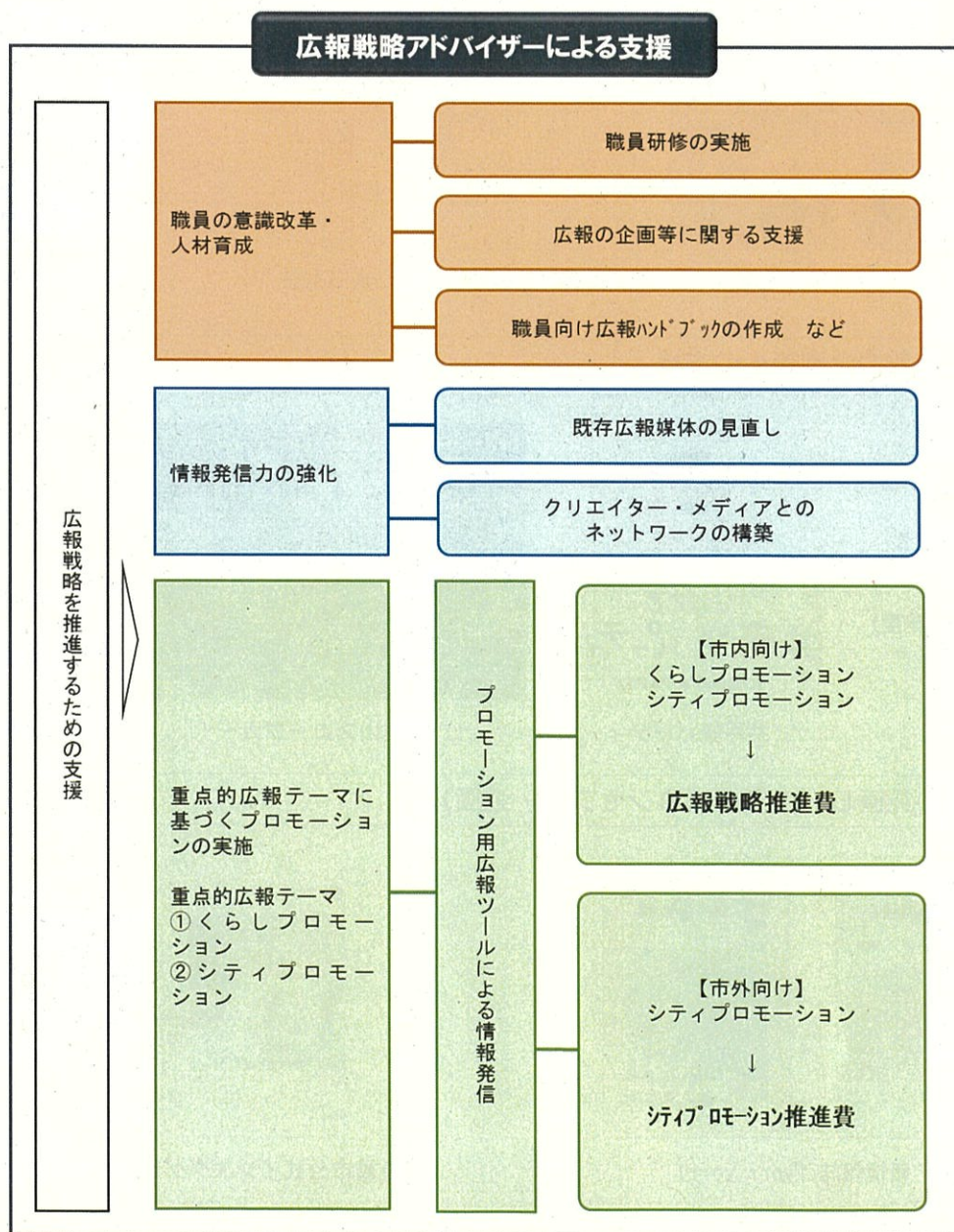
【参考2】広報戦略アドバイザーについて

(1) 広報戦略アドバイザー 鳥巢 智行 氏 プロフィール

- 長崎市出身。株式会社電通に所属し、コピーライターとして様々な企業のプロモーションから新商品の開発まで幅広く手掛ける。
- 第1回高校生平和大使のメンバーで、現在も被爆の実相に係る資料をまとめて、保存・管理する「Nagasaki Archive」や、平和学習をよりよいものに改善するプロジェクトなど、独自の平和活動に取り組む。長崎市では、長崎伝習所の一環として若者のまちづくり活動を促す事業に講師として携わるなど幅広く活動する。
- 令和元年8月から長崎市の広報戦略アドバイザーを務め、広報戦略の策定に携わるほか、職員研修の実施、各事業の広報の企画等に関する支援及び既存広報媒体の見直し等への支援を行っている。



(2) 広報戦略アドバイザーによる支援内容



(3) 広報戦略アドバイザーの主な支援実績

広報戦略策定への支援



△ 長崎市広報戦略ブック

新型コロナウイルス感染症に関する広報の企画等への支援



△ 新しい生活様式の啓発



△ 長崎やさしいまち宣言



△ 尾曲がり招き猫シール

各所属が行う広報の企画等への支援

約 30 所属から相談を受けている。
(令和元年度～2年度)



△ 井戸端パーティー

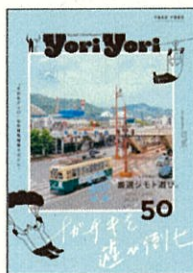


△ 稲佐山スロープカー

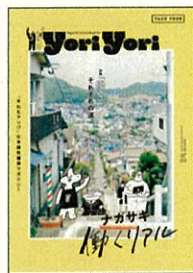


△ 魚の美味しいまち

既存広報媒体の見直しへの支援 (コンセプト・企画)



△ 新情報誌「yori yori」



△ 長崎市公式インスタグラム (にやがさき市公式)

予算説明書					事業名	予算額
頁	款	項	目	番号		
114 ～ 115	2 総務費	1 総務管理費	2 広報広聴費	1-2	シティプロモーション 推進費	千円 9,900

1 概要

広報戦略に基づき、市外に向けて、まちの変化から生まれる魅力、まちが育んできた文化の魅力、また、これらを組み合わせることができる新しい魅力等を発信し、交流人口や関係人口の増加につなげるため、シティプロモーションの強化を図るもの。

2 事業内容

広報戦略の重点的広報テーマである「シティプロモーション」の推進に向け、令和2年度に制作するプロモーション用広報ツール等を効果的に活用し、コロナ禍において地方への関心が高まっている大都市圏の若い世代への訴求力が高い SNS を中心とした情報発信を行う。

(1) 重点ターゲット

福岡・東京等の大都市圏居住者のうち、特に若い世代の人及び長崎市への来訪者

(2) 内容

様々な媒体を活用し、シティプロモーションのメインビジュアルを目にする接点をつくり、イメージの浸透につなげる。また、制作中のプロモーション専用 WEB サイトへの誘引を図り、長崎市の魅力等を発信する。

なお、実施にあたっては、ターゲットに対して効果的に発信するため、媒体の選択を含め、事業者から提案を募り受託者を選定するコンペの実施を想定している。

ア SNS 等による情報発信 (6,600千円)

- ・フェイスブック、Instagramでの動画広告配信
- ・グーグルのパナー広告配信 など



【動画広告配信のイメージ】



【グーグルのパナー広告配信のイメージ】

イ 福岡における街頭大型ビジョンでの放映（2,310千円）

ソラリアビジョン（福岡市天神地区）など



ウ 長崎駅構内ビジョンでの放映（990千円）



3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 9,900	千円 4,950	千円 -	千円 -	千円 -	千円 4,950

※地方創生推進交付金 補助率1/2

予算説明書					事業名	予算額
頁	款	項	目	番号		
114 ～ 115	2 総務費	1 総務管理費	2 広報広聴費	1-4	テレビ・新聞等広報費	千円 41,835

1 概要

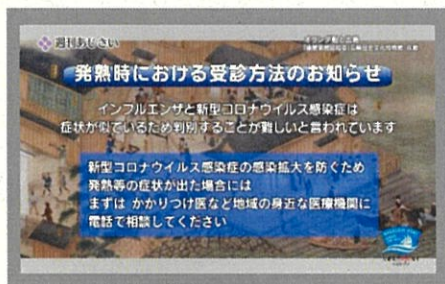
テレビやラジオ、新聞などを通じて、市民に市政情報や暮らしの情報などを広くお知らせする。

2 事業内容等

(1) テレビによる広報 (36,744 千円)

ア 週刊あじさい (32,484 千円)

民放4局で毎週土曜日または日曜日に放送(4分)。番組形態はアナウンサーが情報を読み上げる「お知らせ番組」と、カメラ取材を通して一つのテーマを紹介する「企画番組」の2種類。



(お知らせ番組)



(企画番組)

イ テレビスポット (1,420 千円)

緊急にお知らせが必要な内容などをテレビCMで放送。

ウ ケーブルテレビ (1,850 千円)

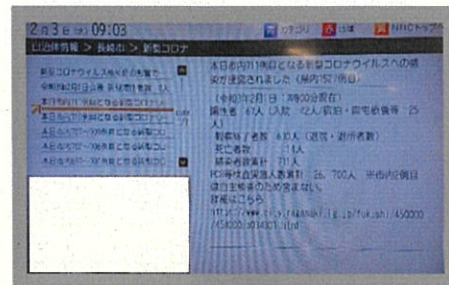
長崎ケーブルメディア制作番組「なんでんカフェ」内の「市トクながさき」(月3回、金曜日・約15分)に担当職員や市長(月1回)が出演し、アナウンサーとの対話方式で放送。

エ データ放送 (990 千円)

NBCのデータ放送「自治体情報」メニューで配信



(ケーブルテレビ)



(データ放送)

(2) ラジオによる広報 (1,716 千円)

民放2局(NBCラジオ、FM長崎)で、毎週1回(約4分)アナウンサーの読み上げにより放送。

(3) 新聞による広報 (1,025 千円)

緊急にお知らせが必要な内容などを、地元紙「長崎新聞」に掲載。

(4) 動画による広報 (1,030 千円)

緊急にお知らせが必要な内容などの動画を制作し、まちなかなどにある大型モニターや SNS、動画共有サイトなどで発信。

(5) 広告の手法を使った動画による広報 (1,320 千円) ※新たに取り組む事業

市から伝えたいテーマを、広告の手法を使って、分かりやすくメッセージとして伝える動画を制作する。動画はまちなかなどにある大型モニターや SNS、動画共有サイト、ホームページなどで発信する。

ア 内容 30 秒程度の動画 2 テーマ

イ テーマ候補

- ・人のやさしさや温かさなどを伝えるような動画
- ・若者の目線で長崎の魅力を伝えるような動画など

ウ 制作方法 映像制作などの履行が可能な学部がある大学へ委託

(大学へ委託する理由)

- ・大学生と連携し制作することで、若い世代の感覚で、若者にも訴求する動画をつくることができる。
- ・学生は制作を学びの機会とすることができるとともに、企画を練ってもらうことで、学生自身が長崎市に興味・関心をもったり、長崎で働きたい・住みたいと思ったりするきっかけにできる。
- ・市は、学生との意見交換や協議などを通じて、若い世代が長崎市へ抱く思いや意識を把握することができる。

エ 主な活用ビジョン ハマクロスの大型モニター「ハマモニ」など、市政情報の発信に対して協力を得ている市内一円の大型ビジョン



(ハマクロスの大型モニター「ハマモニ」)

オ SNS 広告


SNS で発信した動画をより多くの皆さんの見てもらうため、SNS 上で広告を表示する。







3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
41,835	—	—	—	—	41,835

【参考資料】 広告の手法を使った動画のイメージ案

ACジャパン「知ってくれていた人。」

映像	テロップ	ナレーション
		
		
	<p>知らない人。</p>	
	<p>知らない人。</p>	
		
	<p>知らない人。</p>	

映像	テロップ	ナレーション
		
 <p>だけど、</p>	<p>だけど、</p>	
 <p>だけど、 知ってくれていた人。</p>	<p>知ってくれていた人。</p>	<p>女子学生 「あの… 大丈夫ですか」</p>
 <p>ヘルプマーク — 内部障害や難病 — 義足や人工関節 — 妊娠初期 など 外見からはわからないけど、 助けが必要な方のためのマーク。</p>	<p>ヘルプマーク -内部障害や難病 -義足や人工関節 -妊娠初期 など</p>	<p>ナレーター 「ヘルプマーク。それは外見からはわからないけれど、助けが必要な方のためのマーク」</p>
	<p>外見からはわからないけど、助けが必要な方のためのマーク。</p>	
		<p>ナレーター 「知ってください。ヘルプマークのこと」</p>

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
124 ～ 125	2 総務費	1 総務管理費	9 国際化推進費	2-1	都市提携及び親善交流費	千円 5, 521

1 概要

姉妹（友好）都市、市民友好都市及び国際交流に係る団体等と交流を深め、都市間ネットワークを強化する。

2 事業内容

(1) セントポール市（アメリカ）訪問団受入れ（643千円）

ア 日程

令和3年10月（予定）

イ 訪問団構成

セントポール・長崎姉妹都市委員会、セントポール市民交響楽団など 30人（予定）

ウ 内容

令和2年度に姉妹都市提携65周年を迎え、現地の姉妹都市委員会や市民交響楽団など関係団体の来崎が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった。

令和3年度、改めて現地の姉妹都市委員会や市民交響楽団が来崎し、本市の姉妹都市委員会や市内の小中学生等との市民間交流を深める。

エ 事業費内訳

旅費 13千円（空港送迎旅費）

需用費 410千円（歓迎屋・夕食会、記念品等）

使用料及び賃借料 220千円（バス借上げ等）

(2) ヴォスロール村（フランス）からの訪問団受入れ（757千円）

ア 日程

未定

イ 訪問団構成

ヴォスロール・外海姉妹都市委員会 14人（予定）

ウ 内容

平成30年度に姉妹都市提携40周年を記念し、ヴォスロール村へ公式訪問団及び市民訪問団を派遣し、現地で長崎外海・ヴォスロール姉妹都市委員会と一緒に交流を深めた。

令和2年度、新型コロナウイルス感染症の影響から予定していた現地の姉妹都市委員会の来崎が中止となり、令和3年度、改めて現地姉妹都市委員会が来崎し、本市姉妹都市委員会等との市民間交流を深める。

エ 事業費内訳

報償費 30千円（通訳謝礼金）

需用費 490千円（歓迎屋・夕食会、記念品等）

その他 237千円（バス借上げ等）

(3) 中国への訪問団派遣 (2, 014千円)

ア 日程

令和3年11月頃(予定)

イ 派遣都市

北京市等

ウ 訪問者

市長、議長、通訳(国際交流員)

エ 内容

令和2年度、長崎県主催による中華人民共和国駐長崎総領事館開設35周年を記念した訪問団派遣が新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった。

令和3年度、改めて長崎県が同総領事館への感謝と今後の長崎と中国の関係強化を図るため、訪問団派遣を検討していることから、これに参加するもの。主な訪問先は、中国外交部、中日友好協会など。

オ 事業費内訳

旅費 1,994千円(市長、議長、通訳)

役務費 20千円(海外携帯電話借上げ等)

(4) ホイアン市(ベトナム)からの訪問団受入れ(441千円)

ア 日程

令和3年10月6日(水)~10月8日(金)(予定)

イ 訪問団構成

ホイアン市人民委員会など10人(予定)

ウ 内容

令和3年度長崎くんちで本石灰町が御朱印船を奉納することから、平成29年度に官民一体となって御朱印船を贈り、同船が設置されているホイアン市から訪問団を受入れ、御朱印船を通じた市民間交流を促進する。

エ 事業費内訳

報償費 30千円(通訳謝礼金)

需用費 290千円(歓迎昼・夕食会、記念品等)

その他 121千円(バス借上げ等)

(5) ポルトガル講演会(長崎開港450周年記念事業)(357千円)

ア 日程

令和3年11月21日(日)

イ 会場

出島メッセ長崎 会議室(予定)

ウ 内容

長崎開港450周年のきっかけとなったポルトガルとの交流の歴史や文化を紹介する講演会を、駐日ポルトガル大使館や長崎日本ポルトガル協会等と連携して実施し、市民にポルトガルとのつながりを実感してもらい、また同国との更なる友好関係を促進する。

エ 事業費内訳

需用費 70千円(会場看板、装飾等)

使用料及び賃借料 287千円(会場借上げ等)

(6) その他親善交流 (1, 309千円)

ア その他姉妹都市等受入れなど

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
5,521	—	—	—	3,855	1,666

※文化国際交流基金繰入金 2,554千円

市町振興共同事業助成金 1,301千円

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
124 ～ 125	2 総務費	1 総務管理費	9 国際化推進費	2-3	福州市友好都市提携40周年記念事業費	千円 5,979

1 概要

令和2年に長崎市は中国・福州市との友好都市提携から40年を迎え、新型コロナウイルス感染症の影響により、友好親善訪問団を相互に派遣することはできなかったが、記念事業として、予定していた学校交流をオンラインでスタートさせるとともに、市民に福州市に親しんでもらえるよう食堂での福州ランチの提供などを行った。

令和3年度は、新しく始まった学校交流やこれまでの水産水道の技術交流の促進、また両市の結びつきを強めることを目的として、令和2年度に延期した相互訪問を行うとともに、長崎ランタンフェスティバルなどで披露されている川劇(変面)の本場である四川省成都市を関係者とともに訪問し、日本でも有数の変面のまち長崎市と変面による交流を深めることで、観光活性化につなげる。

2 事業内容

(1) 公式訪問団派遣

- ア 日程 令和3年9月26日(日)～10月1日(金) 5泊6日(予定)
- イ 派遣都市 福州市、成都市、上海市
- ウ 公式派遣団 市長、議長、職員3人、国際交流員(通訳)1人 計6人
(関係部局) 商工部、文化観光部、水産農林部、上下水道局、
議会事務局、教育委員会 計13人 合計19人
その他、経済団体、長崎孔子廟中国歴代博物館の参加を予定

エ 行程(案)

- (ア) 長崎～福岡～上海→福州→成都～上海～福岡～長崎
市長、議長、国際課(2人)、文化観光部、議会事務局
- (イ) 長崎～福岡～上海→福州～上海～長崎(9/26(日)～9/30(木))
国際課(2人)、商工部、水産農林部、上下水道局、教育委員会

オ 訪問先での交流内容等(予定)

(ア) 福州市

- 公式行事出席及び表敬訪問、市内視察等、その他分野別交流を予定
- ・学校交流校の視察・交流(三重中学校、長崎商業高校)
 - ・水産・水道技術交流

(イ) 成都市

- 市役所表敬訪問、変面交流

(ウ) 上海市

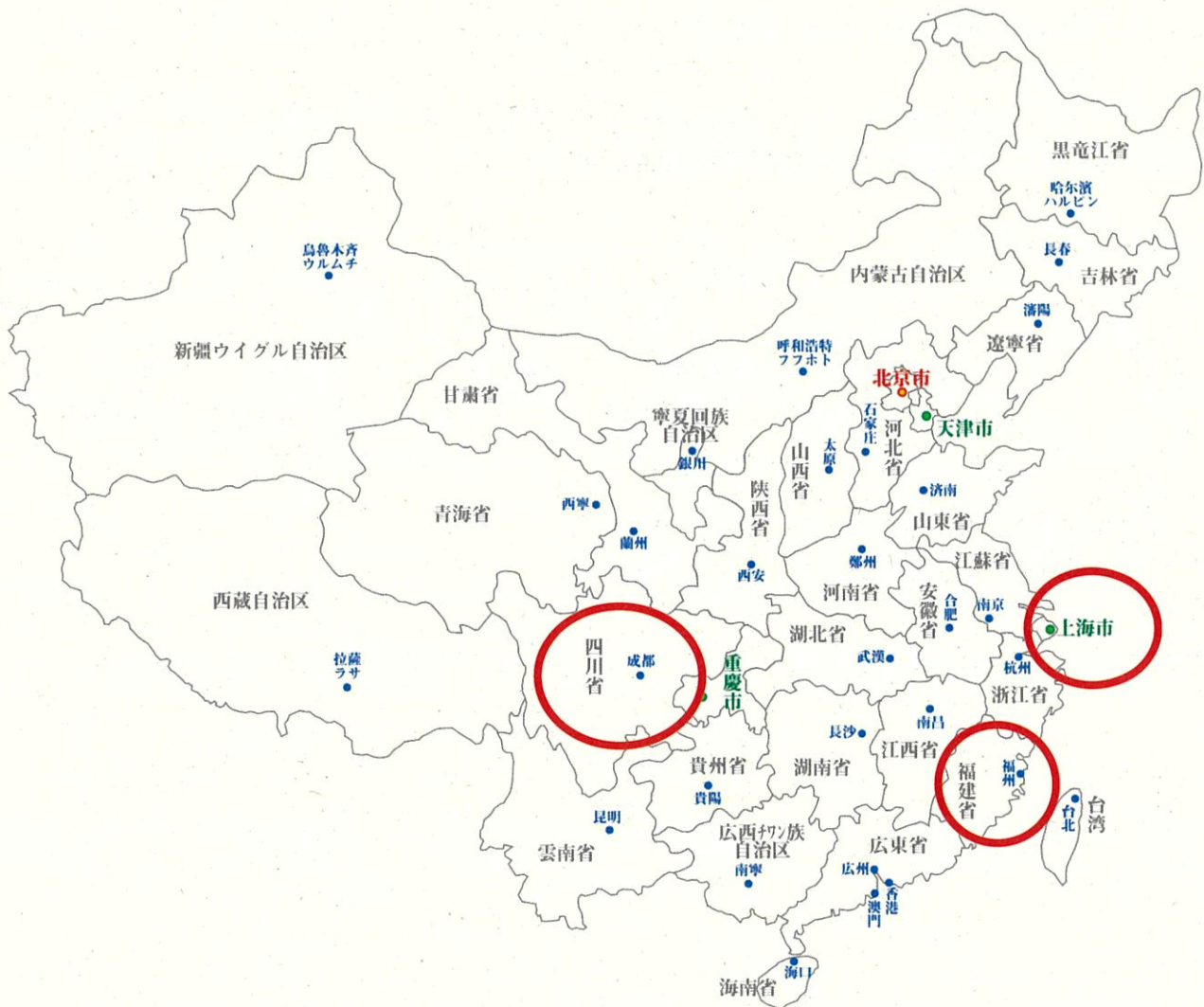
- 長崎上海クラブ設立30周年記念行事への出席、日本総領事館表敬訪問等

カ 事業費 4,078千円（国際課分）

（内訳）旅費 3,951千円（市長、議長、職員3人、国際交流員1人）

需用費 70千円（訪問先への記念品）

役務費 57千円（海外携帯電話借上げ等）



(2) 公式訪問団受入れ

ア 期間 令和3年11月頃（予定）

イ 訪問団 20人（予定）

ウ 交流内容（予定） 市議会全員協議会の開催
学校訪問（三重中学校、長崎商業高校）
福州市文化・芸術等の紹介、展示

エ 事業費 1,219千円

（内訳）報償費 60千円（歓迎行事謝礼）

旅費 17千円（空港送迎旅費）

需用費 853千円（歓迎昼・夕食会、記念品等）

使用料及び賃借料 289千円（バス借上げ、会場借上げ等）

(3) その他

ア 記念誌作成 150部

イ 事業費 682千円

（内訳）需用費 682千円（冊子作成）

3 訪問都市（友好都市）の概要

(1) 福州市

- ア 人口 約 766 万人
- イ 面積 11,968 平方キロメートル
- ウ 提携日 昭和 55（1980）年 10 月 20 日
- エ 提携のきっかけ

多くの長崎華僑の出身地で歴史的なつながりがある。中日友好の船「明華号」の長崎訪問の折に、中日友好協会会長に要望書を提出。

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 5,979	千円 —	千円 —	千円 —	千円 5,979	千円 —

※文化国際交流基金繰入金 3,651千円

市町振興共同事業助成金 2,328千円